

1. はじめに

この度は、当社製品をご購入いただき、有難うございました。取り付け前に本説明書を熟読いただき、正しく取り付けてください。取り付けはすべて自己責任でお願いします。当方はいかなる場合も一切責を負いません。

2. 製品構成



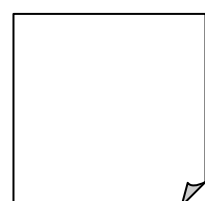
コントローラ(水色 5)
1セット



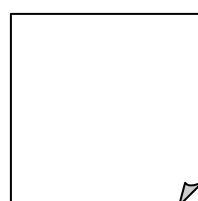
12ピンハーネス
1セット



シートベルトキャンセル用ハーネス
1セット



取付・取扱説明書
3枚



保証書
1セット

3. 配線方法

【注意】

- ・コントローラは配線が完了するまで接続しないでください。配線途中で接続すると故障する恐れがあります。
- ・必ず配線完了後に裏面の配線検査を行ってから、コントローラを接続してください。
- ・車種専用用品を購入された方は、カラーの取説を参照して配線を行ってください。

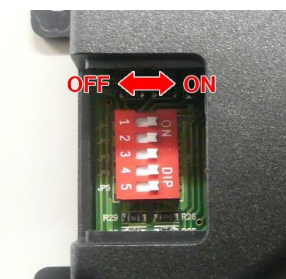
線色	極性	説明と主な接続先
① 黒	-	ボディアースへ接続。
② 赤	+	常時電源へ接続。
③ 緑	COM	ドアロック配線図を参照して配線してください。
④ 青	NC	
⑤ 緑/白	COM	
⑥ 青/白	NC	
⑦ 白	NO	
⑧ 橙 ※	+/-	Pポジション信号へ接続。(Pポジション時の極性は、DIPスイッチ2で設定) ※ Pポジション連動にする場合に接続。
⑨ 茶 ※	-	パーキングブレーキ信号へ接続。(ブレーキ ON時にアース) ※ パーキングブレーキ連動にする場合に接続。
⑩ 灰 ※	+	バックランプ信号へ接続。 ※ Pポジションが取れない場合に接続。
⑪ 黄	+	ACC または IG 電源へ接続。
⑫ 桃		未使用。

※ 選択して接続してください。

4. DIP スイッチの設定方法

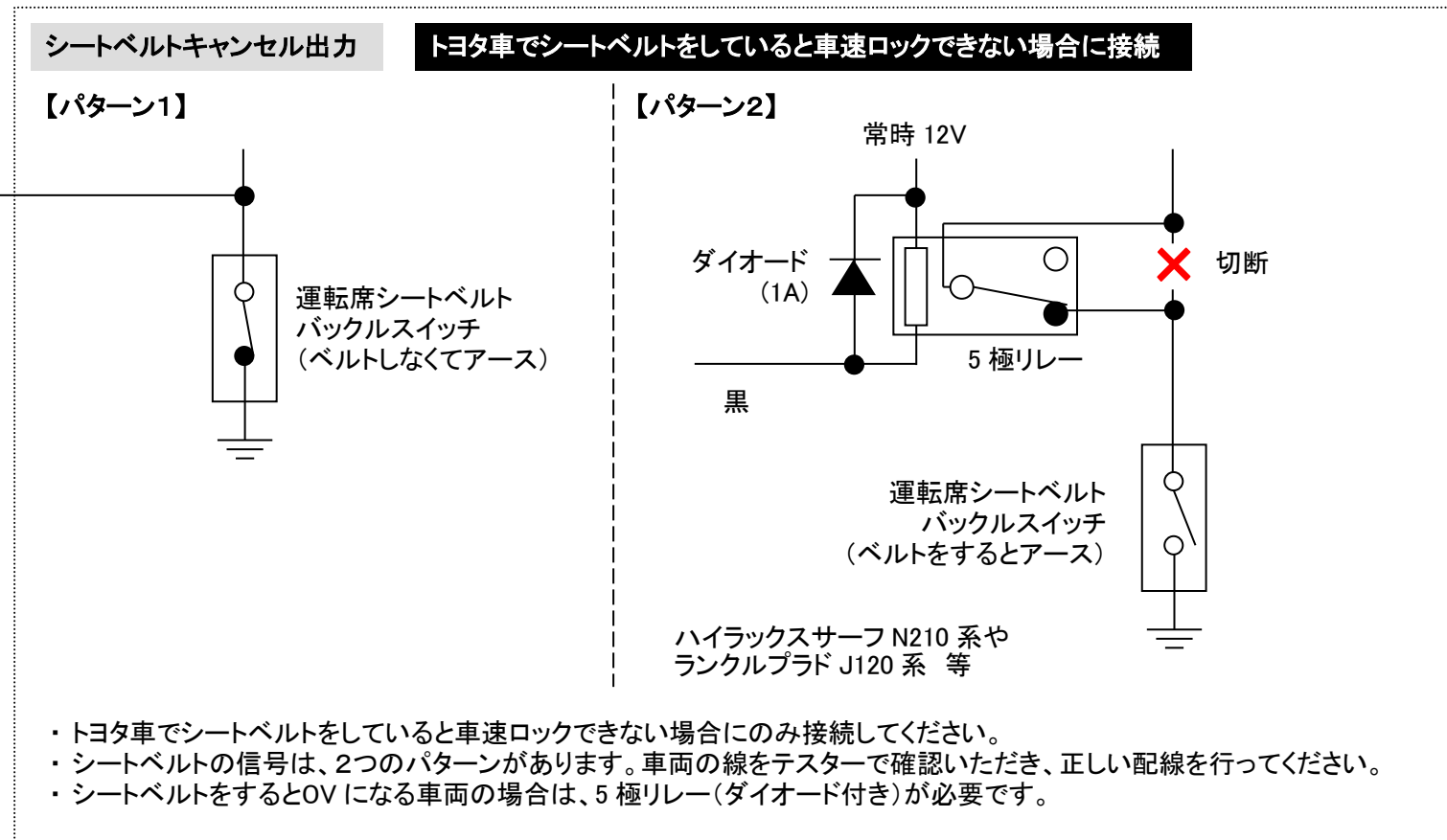
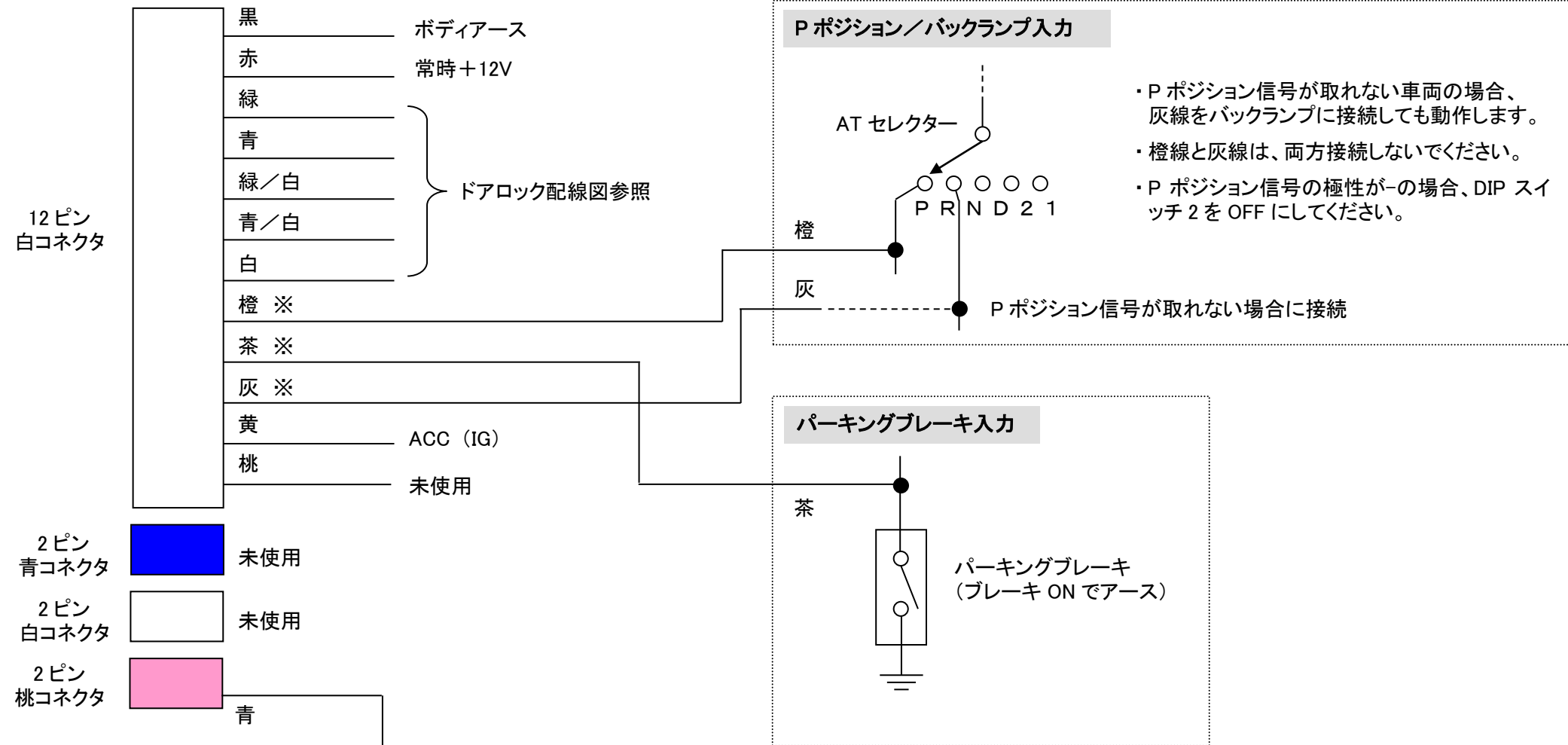
コントローラの DIP スイッチで各種設定を変更できます。設定変更は、必ずコネクタを抜いて行ってください。

DIP スイッチ	設定項目	ON	OFF
1	ロックするまでの時間	2 秒	5 秒
2	Pポジション極性	+	-
3	シートベルトキャンセル出力時間	短	長
4	Pポジションアンロック	有効	無効
5	パーキングブレーキアンロック	有効	無効



基本結線図

※は選択して接続してください。



- ・トヨタ車でシートベルトをしていると車速ロックできない場合にのみ接続してください。
- ・シートベルトの信号は、2つのパターンがあります。車両の線をテスターで確認いただき、正しい配線を行ってください。
- ・シートベルトをすると0Vになる車両の場合は、5極リレー(ダイオード付き)が必要です。

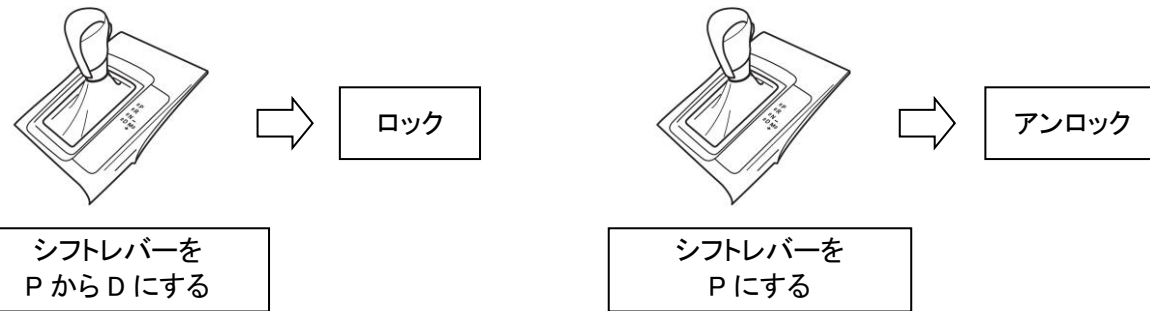
車種別配線情報は、次のページを参考にしてください。
<http://cepinc.jp/chumon/torisetsu/torisetsu.html>
 パスワードは、CMP553 (半角大文字+半角数字)

1. 機能説明

【参考】

トヨタ車の一部は、シートベルトをしているとロックしません。こういった車種に取り付ける場合は、シートベルト出力線を接続してください。本製品はシートベルトを一時的に非装着状態にするため、ロック・アンロック時にシートベルト警告灯が一瞬点灯し、場合によっては警告音が一瞬鳴る場合がありますが、故障ではありません。また、純正ナビでテレビ表示中に本キットがアンロックした場合、一時的にテレビ表示がキャンセルされる場合があります。

Pポジション連動機能（橙線をPポジション信号に接続した場合）



■DIP スイッチ 4 を OFF にした場合
P ポジションでアンロックしなくなり、エンジン停止時にアンロックします。

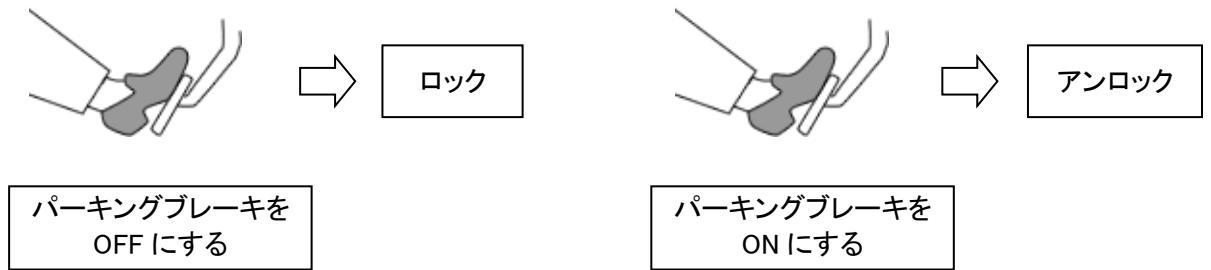
Pポジションが取れない車種の場合（灰線をバックランプに接続した場合）



シフトレバーを P から D にする際に R レンジを通るので、その信号を検知してロックします。一度ロックするとシフトを P にしてもアンロックはしません。エンジン停止時にアンロックします。

茶線をパーキングブレーキに接続すると、パーキングブレーキ ON 時にアンロックすることも可能です。

パーキングブレーキ連動機能（茶線をパーキングブレーキ線に接続した場合）



■DIP スイッチ 5 を OFF にした場合
パーキングブレーキ ON でアンロックしなくなり、エンジン停止時にアンロックします。

2. 配線検査方法

	手順	正常	異常	原因・備考
1	コネクタを挿す。	アンロックする。 → 2へ	アンロックしない。 リレーの「カチツ」という音もしない。	アンロック線の結線不良。 ①黒線、②赤線の結線不良。

■ 橙線(Pポジション)を接続している場合

	手順	正常	異常	原因・備考
2	エンジンを始動し、シートベルトを外した状態で、シフトをDにする。	2秒後にロックする。 → 3へ	ロックしない。 リレーの「カチツ」という音もしない。	ロック線の結線不良。 ⑪黄線、⑧橙線の結線不良、またはDIPスイッチ2の設定間違い。
3	シフトをPにする。	アンロックする。 → 4へ	アンロックしない。	アンロック線の結線不良。
4	シートベルトを装着し、シフトをDにする。	2秒後にロックする。 → 5へ	ロックしない。	シートベルト線の結線不良。
5	シフトをPにする。	アンロックする。 → 完了		

■ 灰線(バックランプ)を接続している場合

	手順	正常	異常	原因・備考
2	エンジンを始動し、シートベルトを外した状態で、シフトをDにする。	2秒後にロックする。 → 3へ	ロックしない。 リレーの「カチツ」という音もしない。	ロック線の結線不良。 ⑪黄線、⑩灰線の結線不良。
3	シフトをPにし、エンジンを停止する。	アンロックする。 → 4へ	アンロックしない。 リレーの「カチツ」という音もしない。	アンロック線の結線不良。 ⑪黄線の接続先間違い。
4	エンジンを始動し、シートベルトを装着した状態で、シフトをDにする。	2秒後にロックする。 → 5へ	ロックしない。	シートベルト線の結線不良。
5	シフトをPにする。	アンロックする。 → 完了		

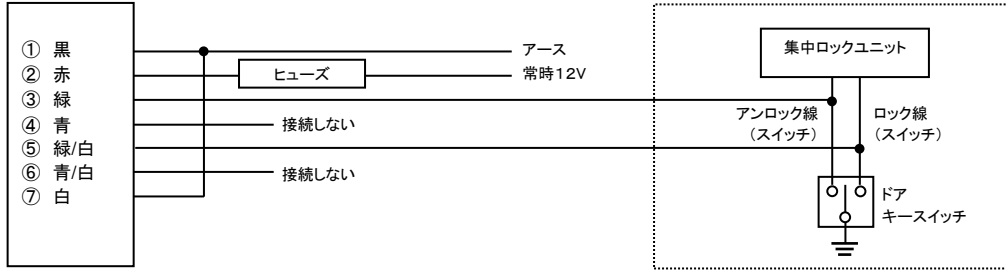
■ 茶線(パーキングブレーキ)を接続している場合

	手順	正常	異常	原因・備考
2	エンジンを始動し、シートベルトを外した状態で、パーキングブレーキをOFFにする。	2秒後にロックする。 → 3へ	ロックしない。 リレーの「カチツ」という音もしない。	ロック線の結線不良。 ⑪黄線、⑨茶線の結線不良、またはDIPスイッチ2の設定間違い。
3	パーキングブレーキをONにする。	アンロックする。 → 4へ	アンロックしない。	アンロック線の結線不良。
4	シートベルトを装着し、パーキングブレーキをOFFにする。	2秒後にロックする。 → 5へ	ロックしない。	シートベルト線の結線不良。
5	シフトをPにする。	アンロックする。 → 完了		

ドアロック基本結線図 (必ず当社のホームページで配線タイプを確認して配線してください。)

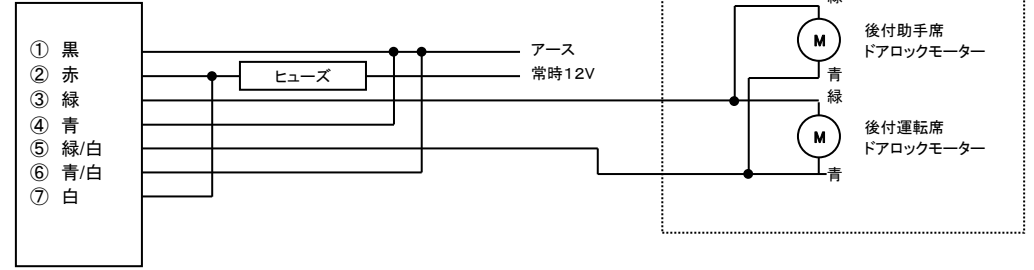
Aタイプ (例:ほとんどのトヨタ車)

すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、マイナスコントロール(信号線をアースに接続するとロック・アンロック)の車種



Bタイプ (例:トヨタ車以外の日本車で純正キーレスが付いていない車)

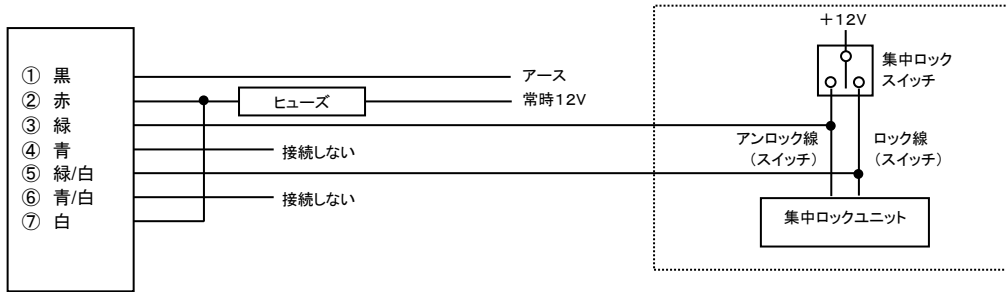
ドアロックモーターが付いていない車種



・ドアロックモーターの取り付け方向によっては、緑と青の配線が逆になる場合があります。
 ・2個以上使用する場合は、図のように並列に接続してください。

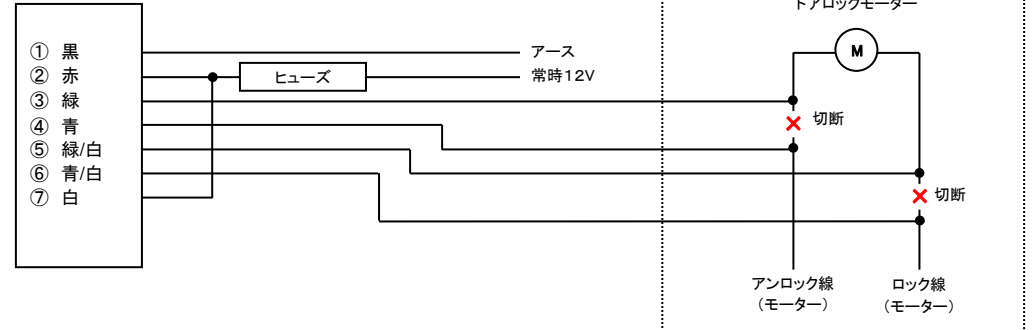
Dタイプ (例:BMW E32・E34・E36・E38・E39 等、GOLF3 やアメ車の一部等)

すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、プラスコントロール(信号線を+12Vに接続するとロック・アンロック)の車種



Cタイプ (例:トヨタ車以外の日本車で純正キーレスが付いている車)

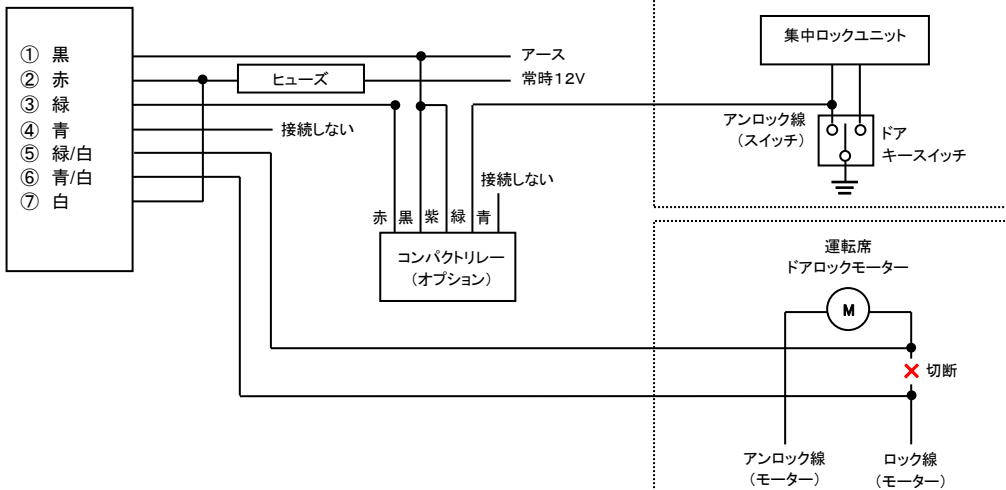
全ドアにドアロックモーターが付いていて、運転席のロックノブで集中ロックができる車種



・青、緑、青/白、緑/白は向きに注意して接続してください。モーター側が緑、緑/白です。
 ・青(青/白)の線と緑(緑/白)の線を逆に接続すると、ショートしてヒューズが飛びます。
 ・社外キーレスと同時に取り付ける場合は、ロック線・アンロック線共に直列になるように配線してください。

ロック:Cタイプ アンロック:Aタイプ (RB1・2系オデッセイ、RG1~4系ステップワゴン等)

ロックがCタイプ、アンロックがAタイプの車種(オプションのコンパクトリレーが必要)



【当社キーレスと併設する場合】

- ① 図のようにアンロック線をカット後、モーター側のアンロック線に本体の緑線を接続。
- ② 本体の青線をキーレスの緑線へ接続。
- ③ キーレスの青線を車両側のアンロック線に接続。
- ④ ロック線も同様にカット後、モーター側のロック線に本体の緑/白線を接続。
- ⑤ 本体の青/白線をキーレスの緑/白線へ接続。
- ⑥ キーレスの青/白線を車両側のロック線に接続。

【常時電源について】

赤線の電源は、必ず15A以上の容量の大きな線に接続してください。
 (オーディオ裏は、容量が小さいのでうまく動作しない可能性があります。)

ドアロック配線検査手順

- ・検査は必ず本体からカプラーを抜いて行ってください。
- ・必ず最後まで、飛ばさずに確認してください。
- ・手順以外の差込は破損の元になりますので、絶対にしないように注意してください。
- ・検査ピンが熱くなる場合がありますので、検査時は必ず軍手等を使用してください。



Aタイプ（検査ピン1本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑／白と黒の穴に検査ピンを約1秒差し込む	ロック	緑／白または黒線の結線不良
2	緑と黒の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良
3	緑／白と白の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	白線の結線不良

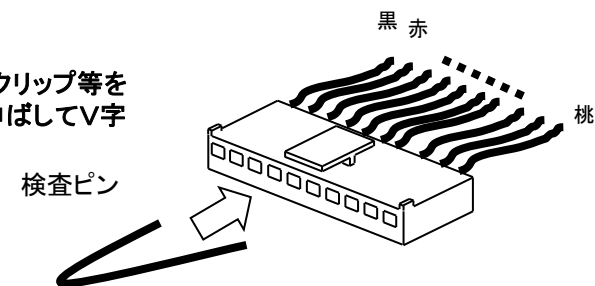
Dタイプ（検査ピン1本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑／白と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	緑／白または赤線の結線不良
2	緑と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良
3	緑／白と白の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	白線の結線不良

ロック:Cタイプ アンロック:Aタイプ（検査ピン2本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑／白と赤の穴に別の検査ピンを約0.5秒差し込む。	ロック	緑／白または赤線の結線不良
2	緑と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	緑線またはコンパクトリレーの結線不良
3	緑／白と白の穴に別の検査ピンを約0.5秒差し込む。	ロック	白線の結線不良

検査ピンは、書類を留める金属のクリップ等を1本または2本ご用意いただき、伸ばしてV字に曲げて製作してください。



B・Cタイプ（検査ピン2本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑と黒の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、緑／白と赤の穴に別の検査ピンを約0.5秒差し込む。	ロック	緑、黒、緑／白または赤線の結線不良
2	緑／白と青／白の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、緑と赤の穴に別の検査ピンを約0.5秒差し込む。	アンロック	青／白または緑線の結線不良
3	緑と青の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、緑／白と白の穴に別の検査ピンを約0.5秒差し込む。	ロック	青または白線の結線不良
4	緑／白と青／白の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、緑と白の穴に検査ピンを約0.5秒差し込む。	アンロック	白線の結線不良

- ・2本の検査ピンは、絶対にショートさせないでください。
- ・ヒューズが飛ぶ場合は、青(青/白)線と緑(緑/白)線が逆に接続されている可能性があります。